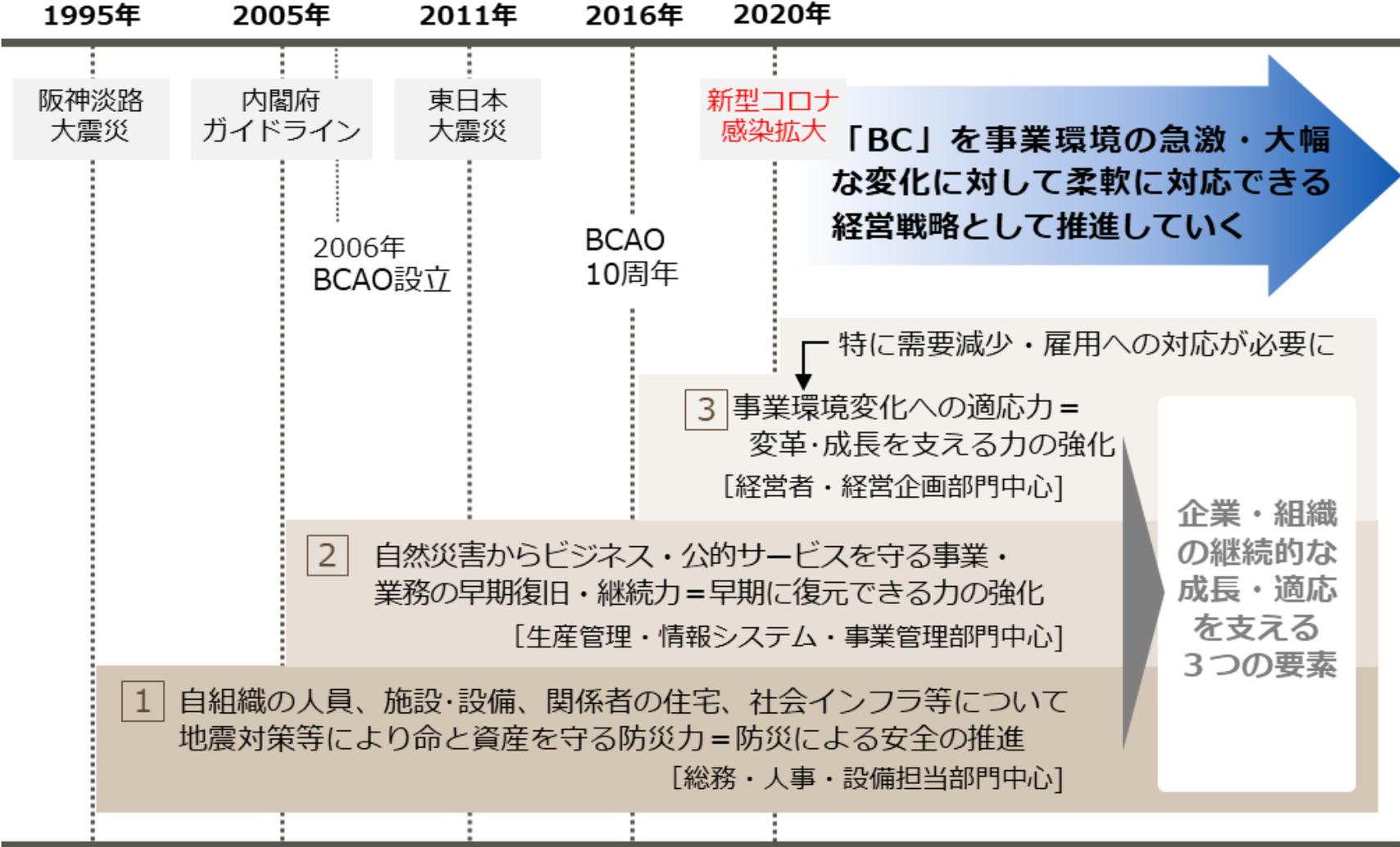


事業環境変化に対して 事業継続する研究会

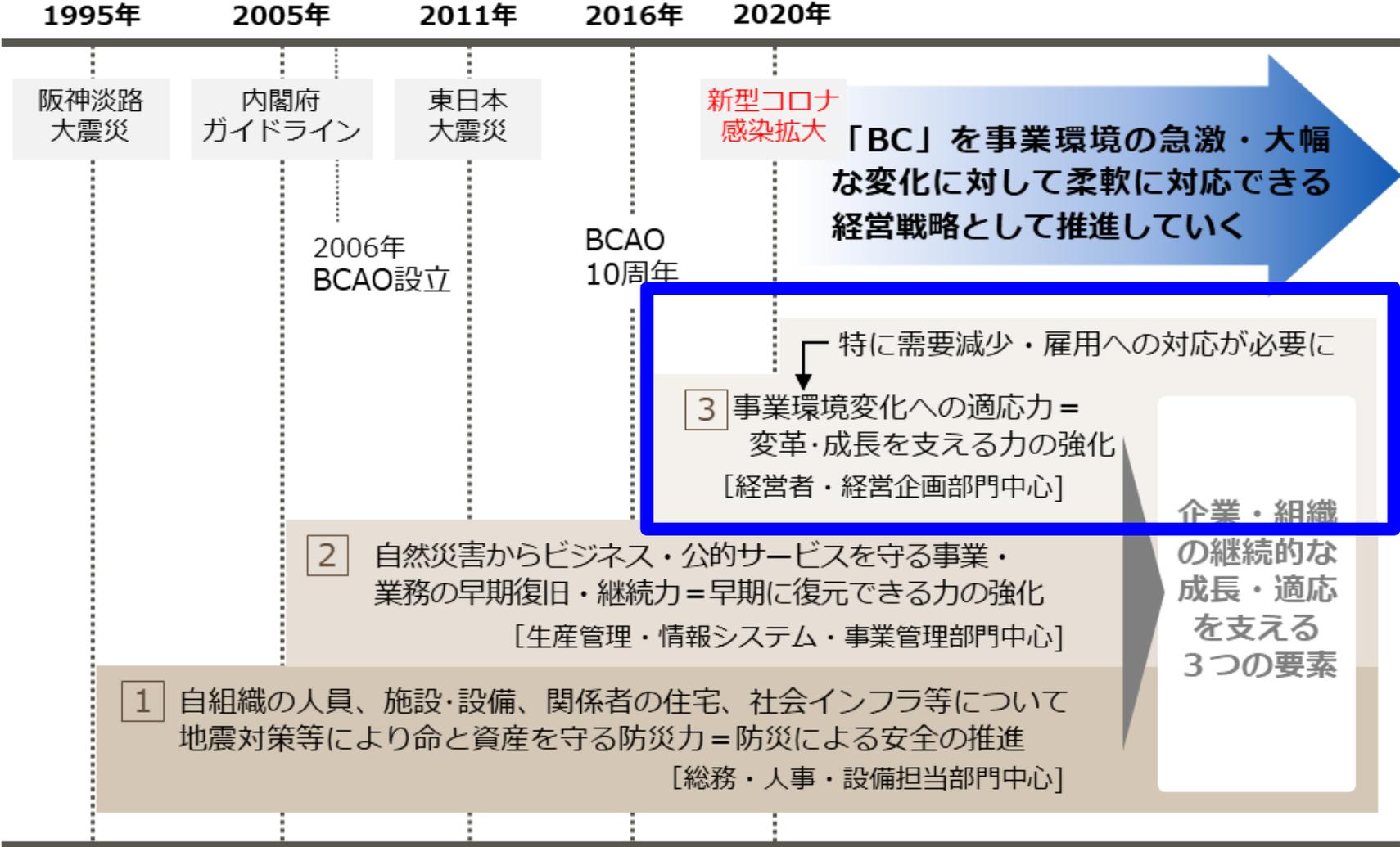
細坪 信二

これからの事業継続(BC)の取組みとは



講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAAの正式見解ではありません。

これからの事業継続(BC)の取組みとは

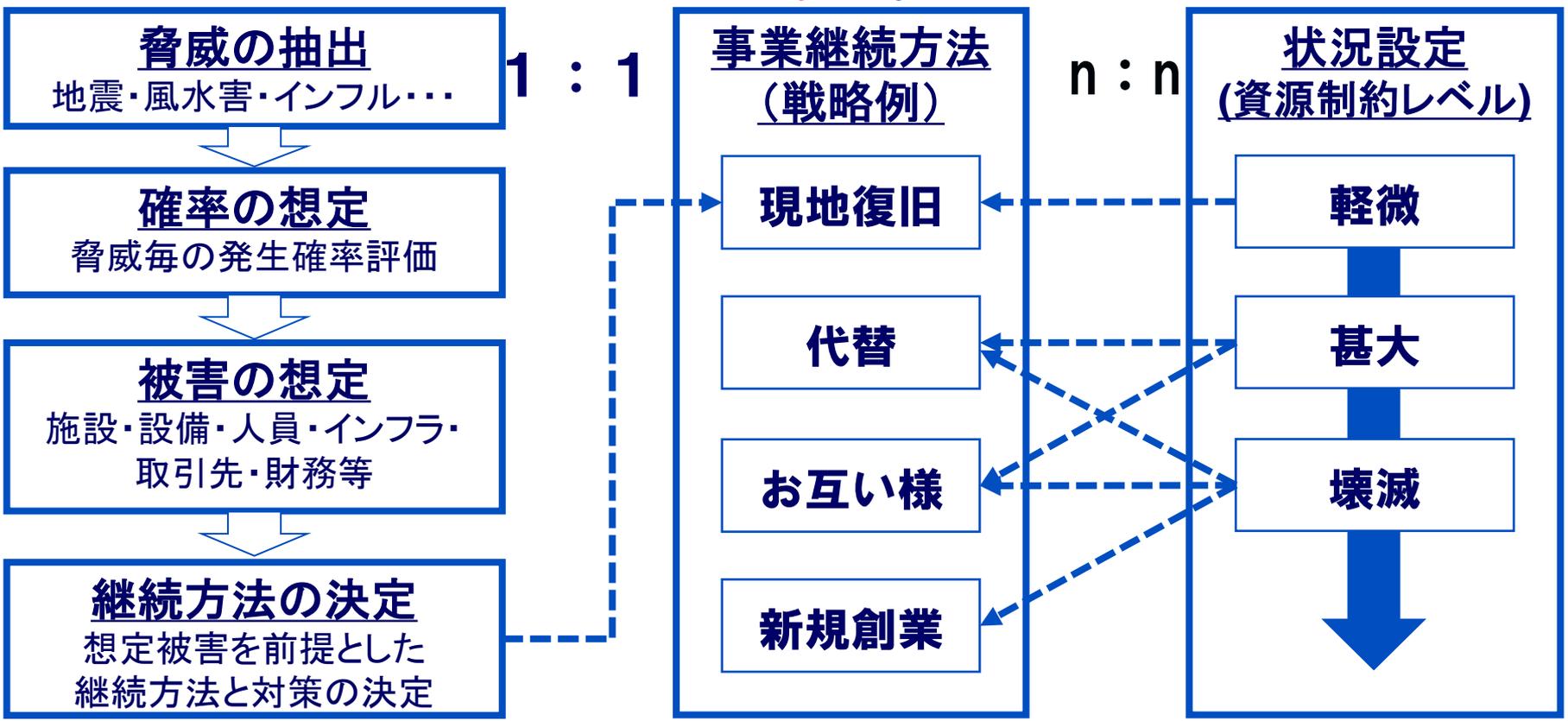


講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

「リスク分析・評価と対策の決定」と「資源制約」アプローチ

リスク分析プロセス・評価アプローチ

資源制約アプローチ



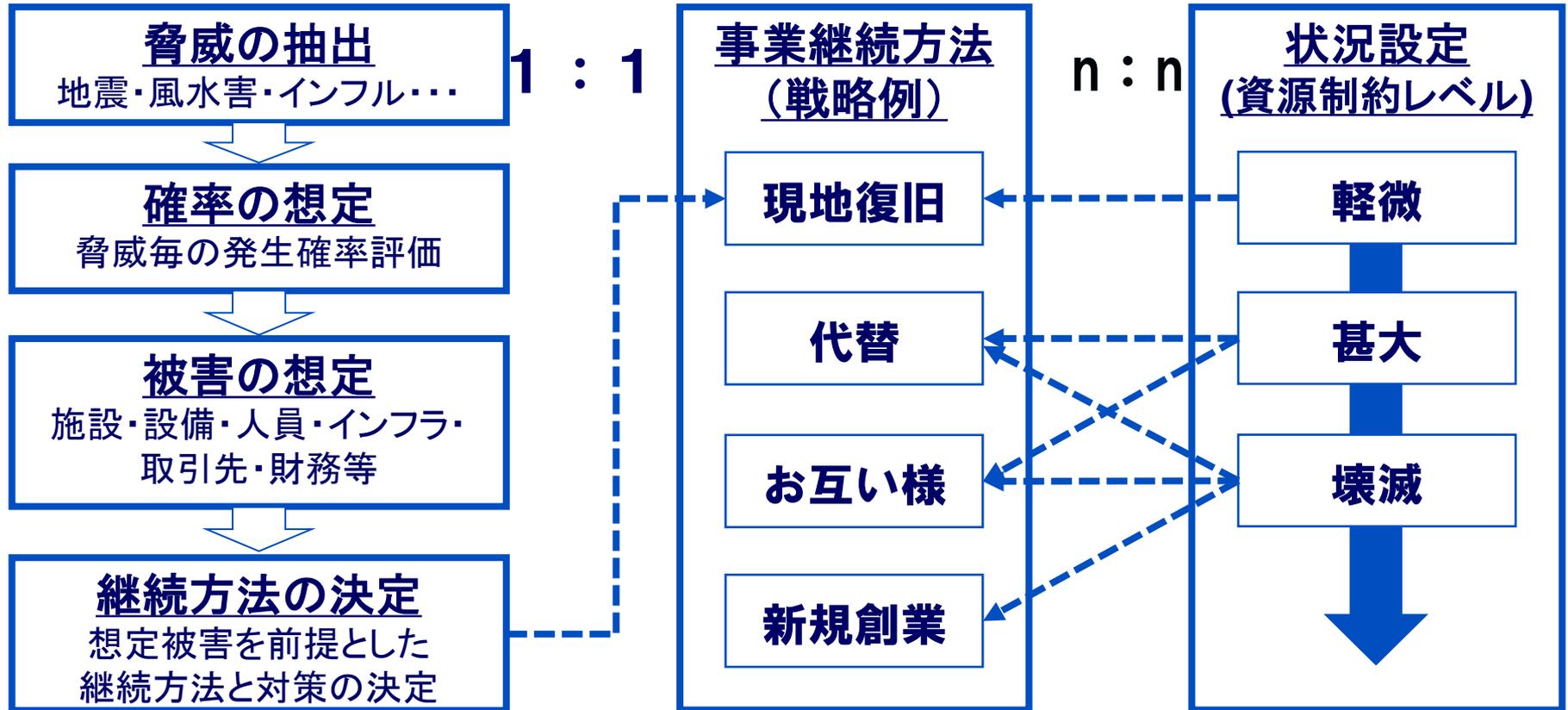
- 被害想定を前提とするリスク分析アプローチでは、被害想定をぎりぎり乗り越える事業継続方法を単一で決定しがちであり、被害に幅をもつ不測の事態に対する方法の複数のオプション(戦略)が抽出されにくい。

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

環境変化

リスク分析プロセス・評価アプローチ

資源制約アプローチ

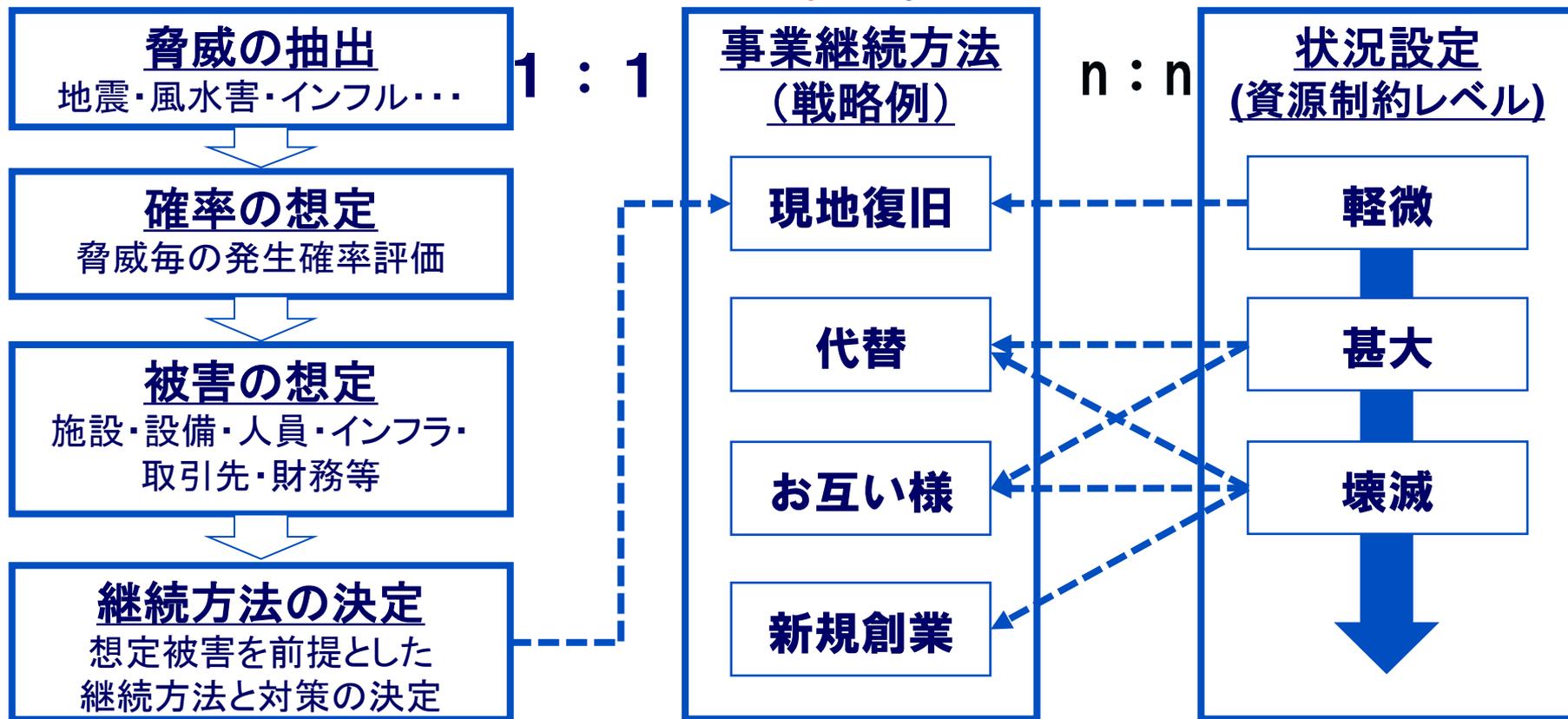


- 被害想定を前提とするリスク分析アプローチでは、被害想定をぎりぎり乗り越える事業継続方法を単一で決定しがちであり、被害に幅をもつ不測の事態に対する方法の複数のオプション(戦略)が抽出されにくい。

環境変化アプローチ

リスク分析プロセス・評価アプローチ

資源制約アプローチ



- 被害想定を前提とするリスク分析アプローチでは、被害想定をぎりぎり乗り越える事業継続方法を単一で決定しがちであり、被害に幅をもつ不測の事態に対する方法の複数のオプション(戦略)が抽出されにくい。

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

経営を取り巻く環境とBC(事業継続)

災害や事故の多発・切迫性

- 地震、台風、豪雨、土砂災害の多発
- 重要システムの重大な障害発生
- 災害・事件・事故発生時に人命の安全を確保する取組みの強化

人命
安全

企業間での供給継続要求強化

- 外部依存の進展とサプライチェーンの拡大・複雑化による供給責任強化
- 相互に連携した継続性強化の要求（相互協定・連携訓練など）

事業
継続

必要性は理解しているが取組みの優先度は低い

優先度の高い経営課題

- 経営の効率化・コスト削減と透明性に対する市場要求への増大
- 不連続かつ変化の早い市場への適応能力の獲得
- 市場の成長率鈍化による新たな成長機会の発見

経営を取り巻く環境とBC(事業継続)

災害や事故の多発・切迫性

- 地震、台風、豪雨、土砂災害の多発
- 重要システムの重大な障害発生
- 災害・事件・事故発生時に人命の安全を確保する取組みの強化

人命
安全

企業間での供給継続要求強化

- 外部依存の進展とサプライチェーンの拡大・複雑化による供給責任強化
- 相互に連携した継続性強化の要求（相互協定・連携訓練など）

事業
継続

事業環境変化に対して事業継続する

優先度の高い経営課題を解決する

- 経営の効率化・コスト削減と透明性に対する市場要求への増大
- 不連続かつ変化の早い市場への適応能力の獲得
- 市場の成長率鈍化による新たな成長機会の発見

従来の防災と事業継続(BC)とレジリエンス

	従来の防災	今まで(2016年頃まで)の事業継続(BC)の取り組み	BCAOが目指すこれから(2016年頃以降)の企業の事業継続(BC) (レジリエンス)
視点	<ul style="list-style-type: none"> ● 生命の安全確保 ● 物的被害の軽減 ● 拠点レベルでの対策・対応 ● 主に安全関連部門・施設部門の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重要業務(製品・サービスの供給)の継続・早期開始<経営の観点・企業の経営戦略の観点> ● サプライチェーンでの対策・対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営理念に基づき、変化する経営環境に対して適応する能力 ● これからの事業継続(BC)の取組はこの表の3段階を網羅すべき
指標例	<ul style="list-style-type: none"> ● 死傷者数 ● 物的損害額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 復旧時間・復旧レベル ● 経営ならびにステークホルダーに及ぼす影響 	<ul style="list-style-type: none"> ● 変化への対応指標(資源固定化よりも外部化・流動化、事業展開のスピード等)

目的

◆ 目的

- 事業環境変化に対して事業継続する戦略(方法)を検討する。
- 様々な事業環境変化に対して演習を実施し鍛える。
- 事業環境変化も網羅した次世代の事業継続を広める。

◆ 内容

- 事例調査
- アンケート
- 企業視察・意見交換
- 事業環境変化に対して事業継続する戦略の検討
- 既存の事業継続の取り組みへの融合方法の検討
- 演習の実施
- 研究成果の発信

メンバー

1. 理事長:丸谷 浩明／東北大学 災害科学国際研究所
2. 理事:細坪 信二／一般財団法人 危機管理教育&演習センター
3. 理事:奥野 一三／株式会社奥野組
4. 理事:新沼 茂幸／ヤマニ醤油株式会社
5. 理事:湯浅 恭史／徳島大学環境防災研究センター
6. 理事:大谷 茂男／株式会社富士通総研
7. 理事:今野 裕規／マーシュブローカー・ジャパン株式会社
8. 理事:平松 稔／株式会社賀陽技研
9. 幹事:野原 英則／京セラ株式会社
10. 幹事:山口珠緒／株式会社エンタープライズ山要・株式会社寝屋川興業
11. 監事:荒井 富美雄／一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会
12. 監事:石井 修一／石井行政書士事務所
13. 会員:大久保茂人／プラスワン
14. 会員:料治 則忠／有限会社 ポツシュ・シゴニーユ
15. 会員:鈴木正弘／一般財団法人 危機管理教育&演習センター
16. …